

みずほCustomer Desk Report 2016/08/22 号(As of 2016/08/19)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	100.43 AUD/USD
TKY 9:00AM	100.16	1.1347	113.63	0.9548	1.3162	0.7677
SYD-NY High	100.47	1.1356	113.87	0.9610	1.3186	0.7692
SYD-NY Low	99.87	1.1304	113.24	0.9538	1.3023	0.7600
NY 5:00 PM	100.23	1.1319	113.39	0.9601	1.3072	0.7628
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.565/11.025		△25RR	1.863	Yen Call Over	
NY DOW	18,552.57	▲ 45.13	債券市場	日本2年債	-0.2010	▲0.6bp
NASDAQ	5,238.38	▲ 1.77		日本10年債	-0.0780	0.4bp
S&P	2,183.87	▲ 3.15		米国2年債	0.7459	4.5bp
日経平均	16,545.82	59.81		米国5年債	1.1641	5.5bp
TOPIX	1,295.67	4.88		米国10年債	1.5781	4.3bp
シカゴ日経先物	16,485	▲65.00		独10年債	-0.0320	5.0bp
ロンドンFT	6,858.95	▲10.01	為替市況	英10年債	0.6190	6.9bp
DAX	10,544.36	▲58.67		豪10年債	1.8600	▲1.0bp
ハンセン指数	22,937.22	▲85.94		USD/CNH	6.6561	0.0222
上海総合	3,108.10	3.99	商品市況	ドルインデックス	94.51	0.35
USDJPY 3M Vol	12.96	▲0.11%		CRB指数	188.780	▲0.56
USDJPY 6M Vol	12.16	0.12%		NY金	1,346.200	▲11.00
EURJPY 3M Vol	11.78	▲0.05%		WTI	48.520	0.30
EURJPY 6M Vol	11.57	0.06%		Dubai Spot	47.84	0.77

東京	東京時間のドル円は100.16レベルでオープン。前日海外時間に米株が底堅く推移したことを受けて、日経平均株価が100円弱上昇して寄り付くと、ドル円相場もつれ高となる。仲値にかけては五・十日に絡む実需のドル買い期待も意識され、一時100.40近辺まで上昇した。その後、日経平均株価が徐々に上げ幅を縮小したことなどを背景に、100円近辺まで押し戻される場面が見られたものの、特段目新しい材料の無い中、100円台前半で方向感に乏しい展開に終始した。結局100.12レベルで海外市場に渡った。また動きがあったのが豪ドル相場で、対ドル0.7677レベルで東京時間オープン。大手格付会社が豪銀の格付け見直しを「カタイプ」に引き下げたと発表すると、豪ドルは対ドルで一時0.7626まで下落。その後やや値を戻して0.7642レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は100円台前半で小動き。朝方は100.12レベルでオープン。欧州株、原油が序盤から下落する中でクロス円も軟調となる一方、全般的なドル高の動きにも挟まれ、ドル円は100円台前半で横這い推移し、100.22レベルでNYへ渡る。ポンドドルは1.3144レベルでオープン。英長期金利が上昇する中でも、前述の欧州株下落を受けたポンド安、ドル高を背景に1.31台前半まで下落し、1.3108レベルでNYへ渡った。(ロンドン7月19日 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は100.22レベルでオープン。米経済指標の発表が予定されていない中、朝方は特段のニュースも見当たらず、米金利が上昇する展開に100.38まで戻すものの、株式市場が軟調に寄り付くと円買戻しが優勢となり、100.03まで反落する。その後は26日(金)のジャクソンホールでのイエレンFRB議長の講演が注目される中、週末を控えた狭いレンジでの閑散な推移が続き、100.23レベルでクロスした。一方、軟調な欧州株の動きを受けたユーロ円の売りや、海外市場で週末を控えた調整と思われるドル買いが優勢となったことから、ユーロドルは1.1304まで反落し、1.1320レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇を受けたドル買いに再び1.1307まで下落する。その後はNY午前10時のオプションカット後に1.1333まで戻すものの、上値は重く、午後は方向感の無い推移が続き、1.1319レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:西島・橋

【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
8月19日	09:00	米	カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-	-
	13:30	日	全産業活動指数 (前月比)	6月	1.0%	0.9%
	15:00	独	PPI (前月比/前年比)	7月	0.2%/-2.0%	0.1%/-2.1%
	21:30	加	小売売上高 (前月比)	6月	-0.1%	0.5%
	21:30	加	CPI (前月比/前年比)	7月	0.0%/1.4%	-0.2%/1.3%

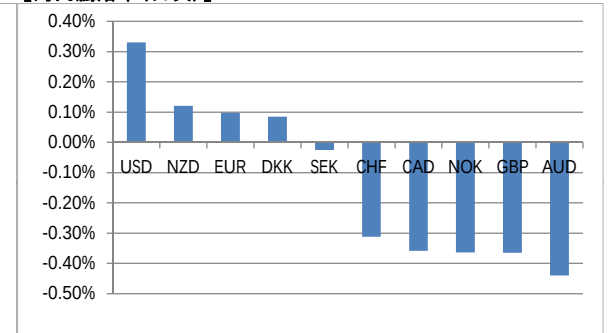
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前日
8月22日	21:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	7月	0.20	0.16
	21:30	加	卸売売上高 (前月比)	7月	0.1%	1.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	99.50-101.00	1.1250-1.1400	113.00-114.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円相場は100円台前半での揉み合いに終始。前日までのダドリー・NY連銀総裁に9月利上げ可能性示唆やウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁の利上げは遅いよりも早い方が望ましいとする発言などをうけたドル買いがドル円を下支えする場面を見せるものの、26日のジャクソンホールでのイエレンFRB議長講演を控えて積極的な取引は手控えられ目立った値動きには至らず。100円台前半の狭いレンジ内での揉み合いにとどまった。本日は日米ともにイベント、経済指標発表等の手掛かりに乏しい一日、材料難の中でドル円は方向感に欠ける値動きが想定されるも、上値は重たい様相が継続と見られる。今朝方ドル円は101円手前まで上昇を見せるも一時的な反応にとどまり、すぐに100円台前半まで押し戻されるなど、引き続き上値を追う雰囲気には程遠い印象。イエレンFRB議長講演までは100円を挟んだ値動きに終始する可能性が考え得るところ。